



5バリュアセット株式会社
代表取締役 斉藤彰一

新年あけましておめでとうございます。

古いか新しいかなんて間抜けなもの達の言い草だった、
俺か俺じゃねえかでただ命がけだった。

長渕剛「西新宿の親父の唄」より

ドラマ「北の国から」の挿入歌にもなりましたので、ご存じの方も多いかと思います。「やるなら今しかねえ」が口癖の、66才の西新宿の頑固親父のことが歌われています。この唄のアルバム『JEEP』は私の社会人1年目の1990年リリースでして、当時はCDウォークマンなるもので通勤電車の中でよく聴いていました。当時は若者目線でこの唄を聴いていたものでしたが、久しぶりに聴くと、自分の思いに一徹な頑固親父の姿が今の自分と重なるような気がします。

近年はITやAIの進展が著しいですし、マーケットも都市の風景も、めまぐるしく変化していきます。その反面で、一人ひとりの個性やこだわりは失われていっているように感じます。特に我々の金融業界では、次々と生み出される新しい運用テーマに皆が流行を追うように追従するにつれ、マーケットの見通しから運用提案の内容まで年々画一化が進み、結果的につまらなくなっているように感じます。

さて、毎度の繰り返しとはなりますが、当社は「5バリュー」の会社です。「顧客重視」「誠実さ」「個人の尊重」「責任ある企業市民」「チームワーク」を理念として、ウェルスマネジメントの理想を目指しています。

また、こちらも繰り返しとなりますが、当社の投資哲学は一貫して「売り買いで儲けようとしない。」「債券運用を中心とし、インカム収入を積み重ねる。」です。

2026年、マーケットをはじめとして世の中はこれまで以上にめまぐるしく変動していくことが予想されますが、当社では軸をぶらすことなく、これまで通り、「5バリュー」と「債券」に懸命に取り組みたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2026年1月16日

本書の内容は、当社代表取締役 斉藤彰一が日頃感じたこと等を率直にお伝えさせていただくものです。
当社が示す正式な評価、意見等を必ずしも反映していない場合がありますので、ご了承ください。